

アンケート調査結果（転出者アンケート）

令和2年（2020年）1月 佐久市

I アンケート調査実施概要

■ 調査概要

調査対象	2年以内に佐久市から転出された18歳以上の方。
抽出方法	住民基本台帳から無作為抽出
標本数	1,500
回収数	450
調査方法	郵送調査
調査期間	2019年11月14日(木)～2019年11月28日(木)

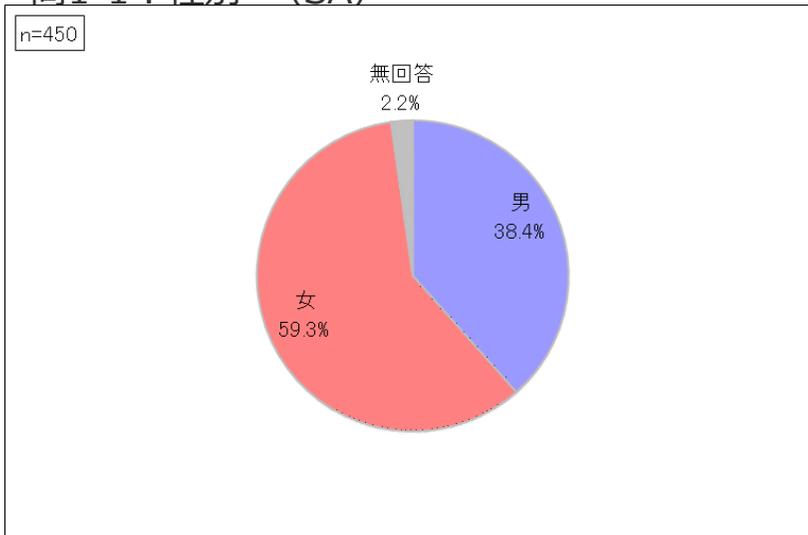
■ 本報告書中の表記について

(SA) : 単純回答、(MA) : 複数回答、(n) : 回答数

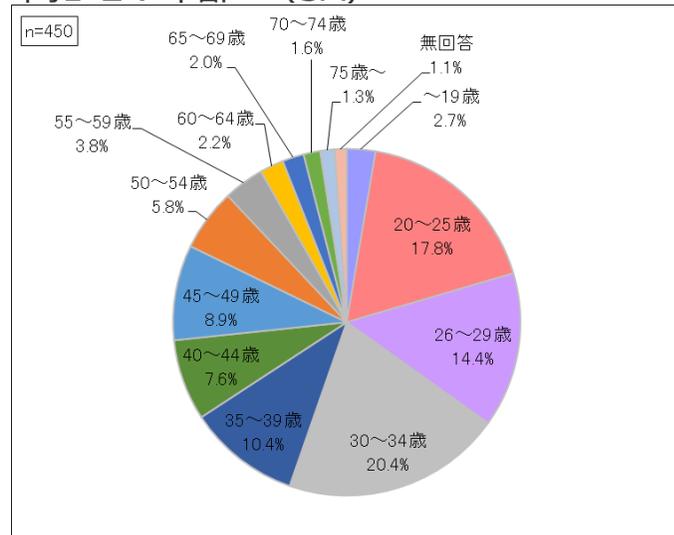
I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

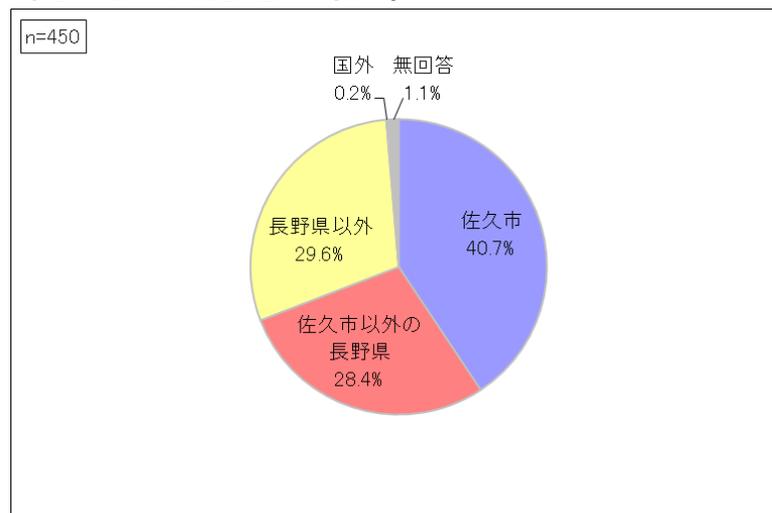
問1-1：性別 (SA)



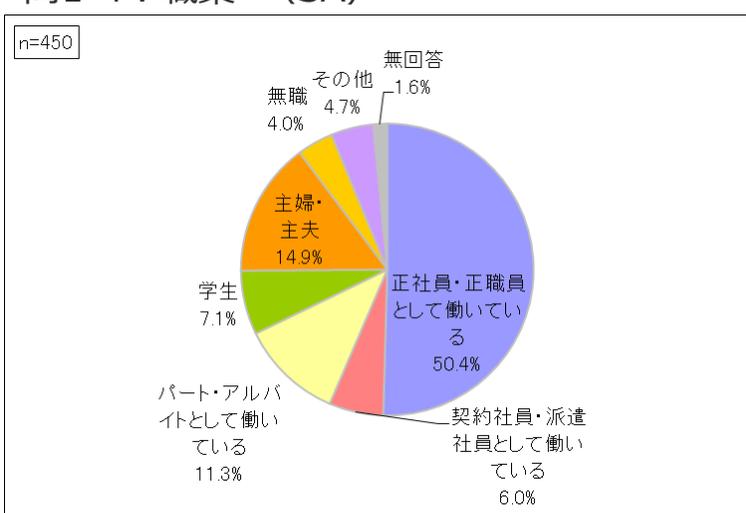
問1-2：年齢 (SA)



問1-3：出身地 (SA)



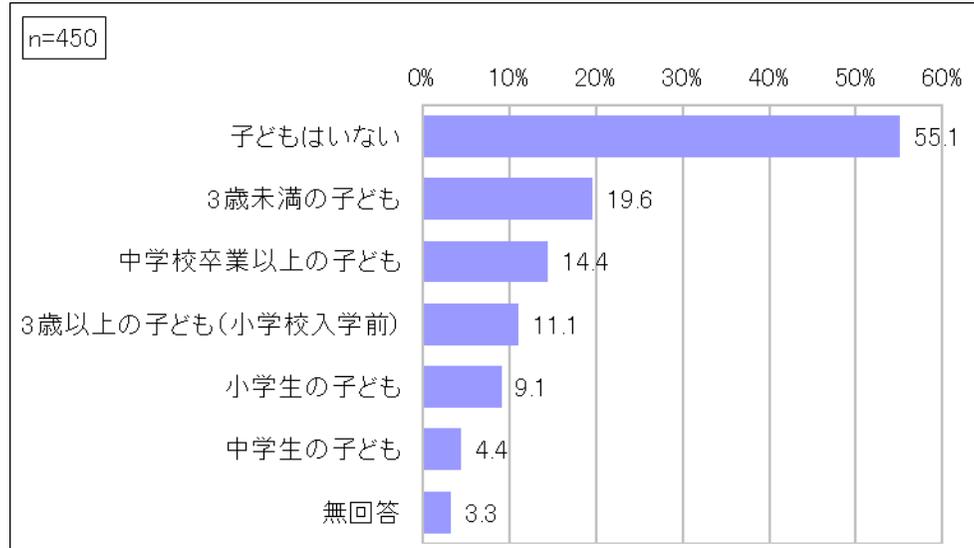
問1-4：職業 (SA)



I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-5-1：子ども有無 (MA)



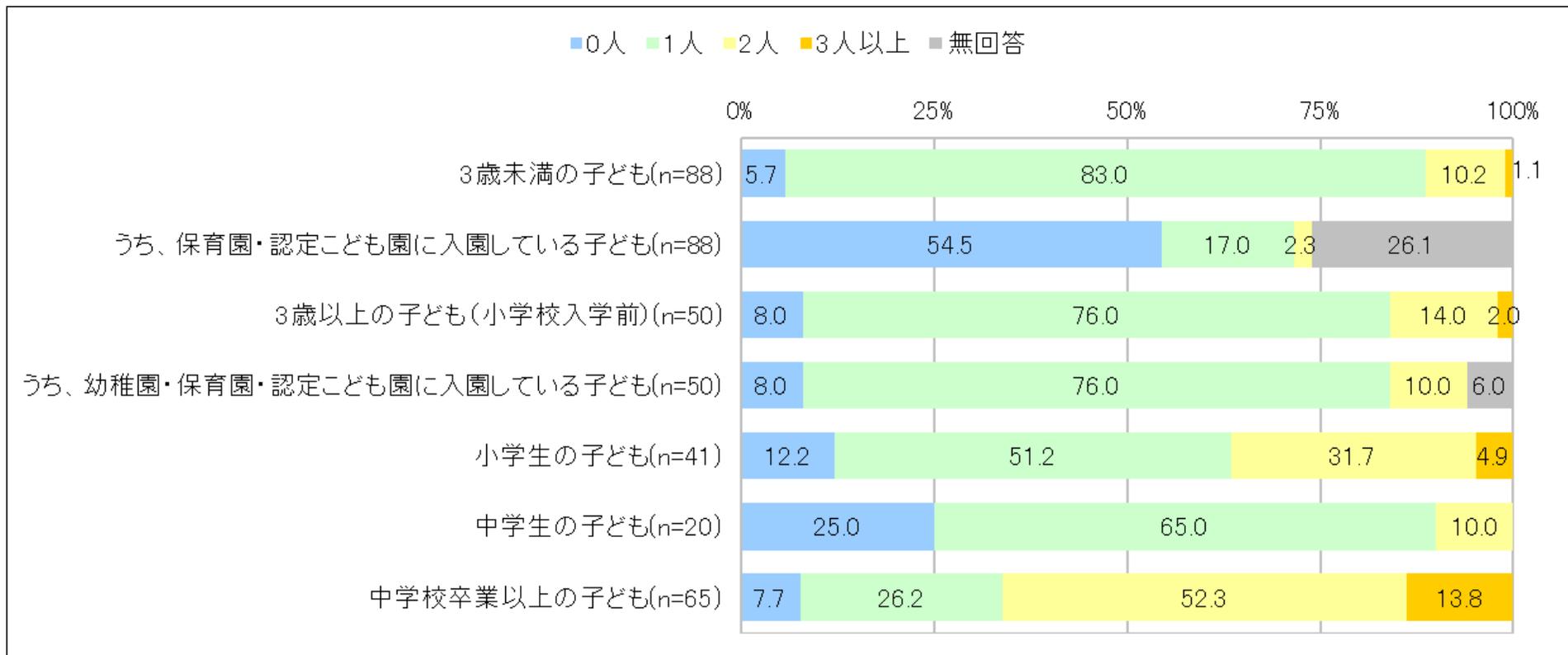
問1-6：配偶者 (SA)



I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

問1-5-1：年齢別子どもの人数



I アンケート調査実施概要

■ 回答者概要

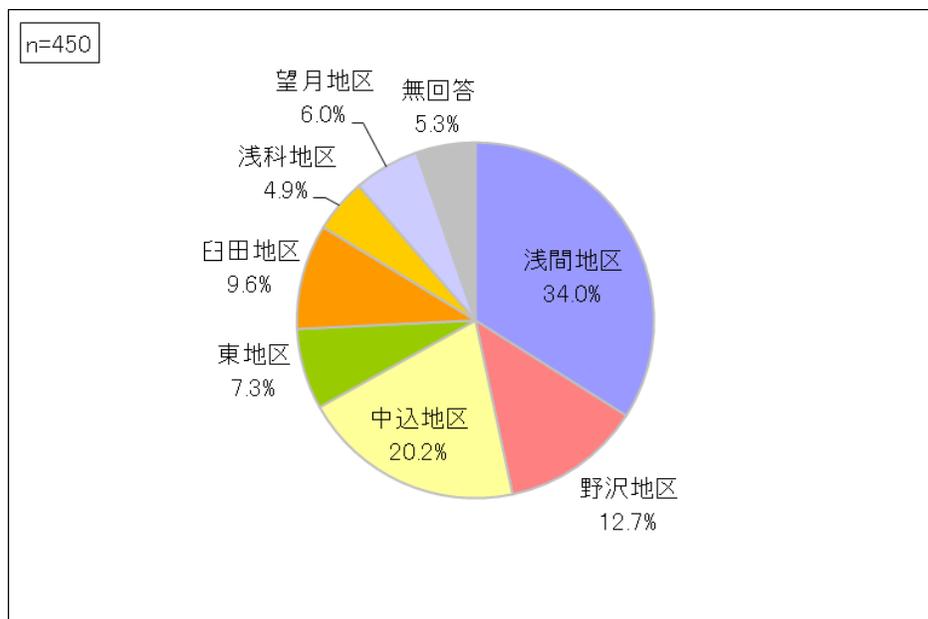
- 性別は約60%が女性でした。また年齢層は30歳代前半までで半数以上を占め比較的若い回答層でした。
- 出身地は佐久市が最も多く約40%で、次いで県内他市、県外の順になりました。
- 職業は正社員・正職員が半数を占め、学生も約7%いました。
- また、約60%が既婚者で、子どものいる回答者が約40%でした。

Ⅱ 調査結果

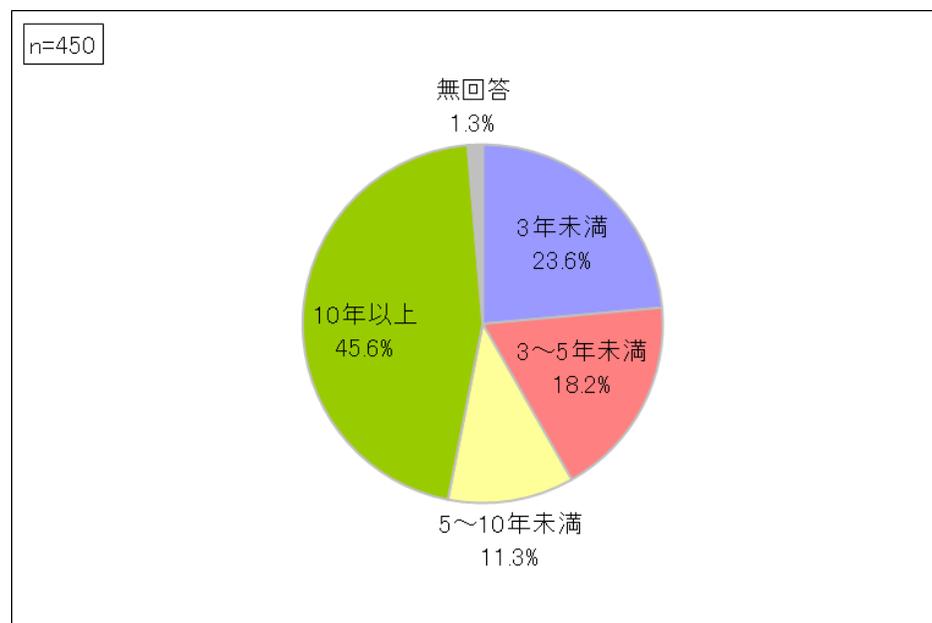
転出前後の状況 について

- 転出前の居住地区は浅間地区が多く、次いで中込地区となりました。
- 居住年数は、10年以上が最も多くなっています。また年齢別にみると、各年齢で10年以上居住していた市民が転出しており、定住促進が課題になっています。また比較的若い20歳代前半で10年以上居住者の転出割合が多く、進学により転出していると考えられます。

問2-1：転出前の佐久市での居住地区（SA）



問2-2：佐久市で暮らした年数についてお書きください。



Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

<クロス分析>

問2-2：佐久市で暮らした年数についてお書きください。

年齢別回答割合（%）

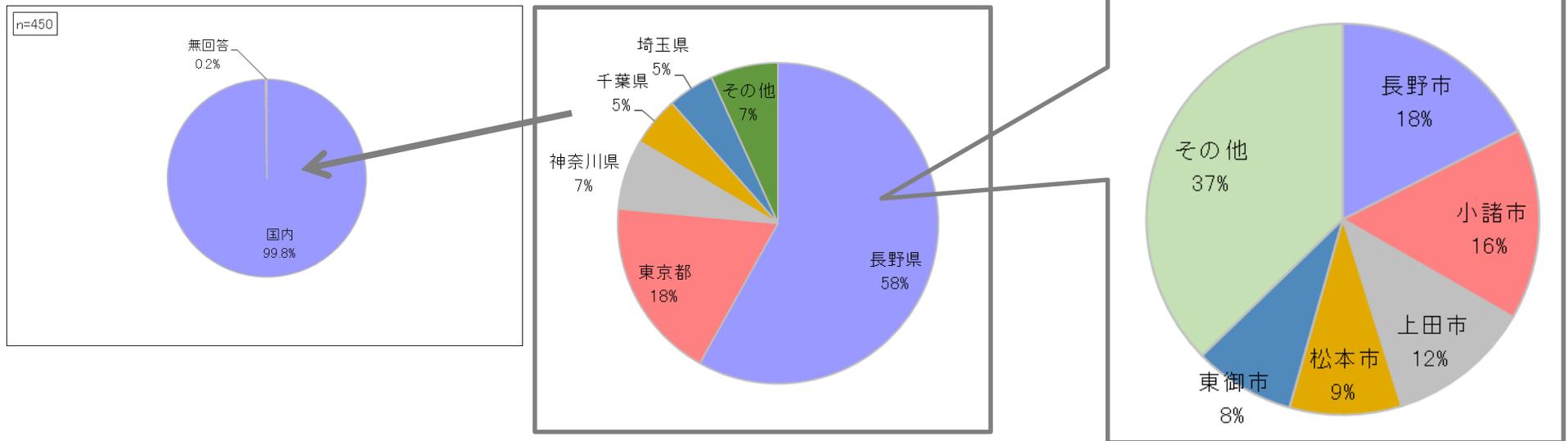
	3年未満	3～5年未満	5～10年未満	10年以上	無回答
～19歳	0.0	8.3	8.3	83.3	0.0
20～25歳	11.3	2.5	7.5	77.5	1.3
26～29歳	23.1	26.2	6.2	44.6	0.0
30～34歳	23.9	19.6	15.2	41.3	0.0
35～39歳	29.8	31.9	12.8	25.5	0.0
40～44歳	35.3	20.6	17.6	26.5	0.0
45～49歳	30.0	25.0	15.0	27.5	2.5
50～54歳	26.9	11.5	11.5	46.2	3.8
55～59歳	35.3	5.9	17.6	35.3	5.9
60～64歳	40.0	30.0	0.0	30.0	0.0
65～69歳	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0
70～74歳	0.0	0.0	14.3	71.4	14.3
75歳～	0.0	50.0	16.7	33.3	0.0

Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 転出者の転出先は、半数以上が長野県でした。その他は東京都をはじめとする関東圏が中心でした。
- 県内では長野市が最も多く、次いで小諸市、上田市の順でした。

問2-3：佐久市から転出した直後に住んでいた場所をお書きください。（SA）

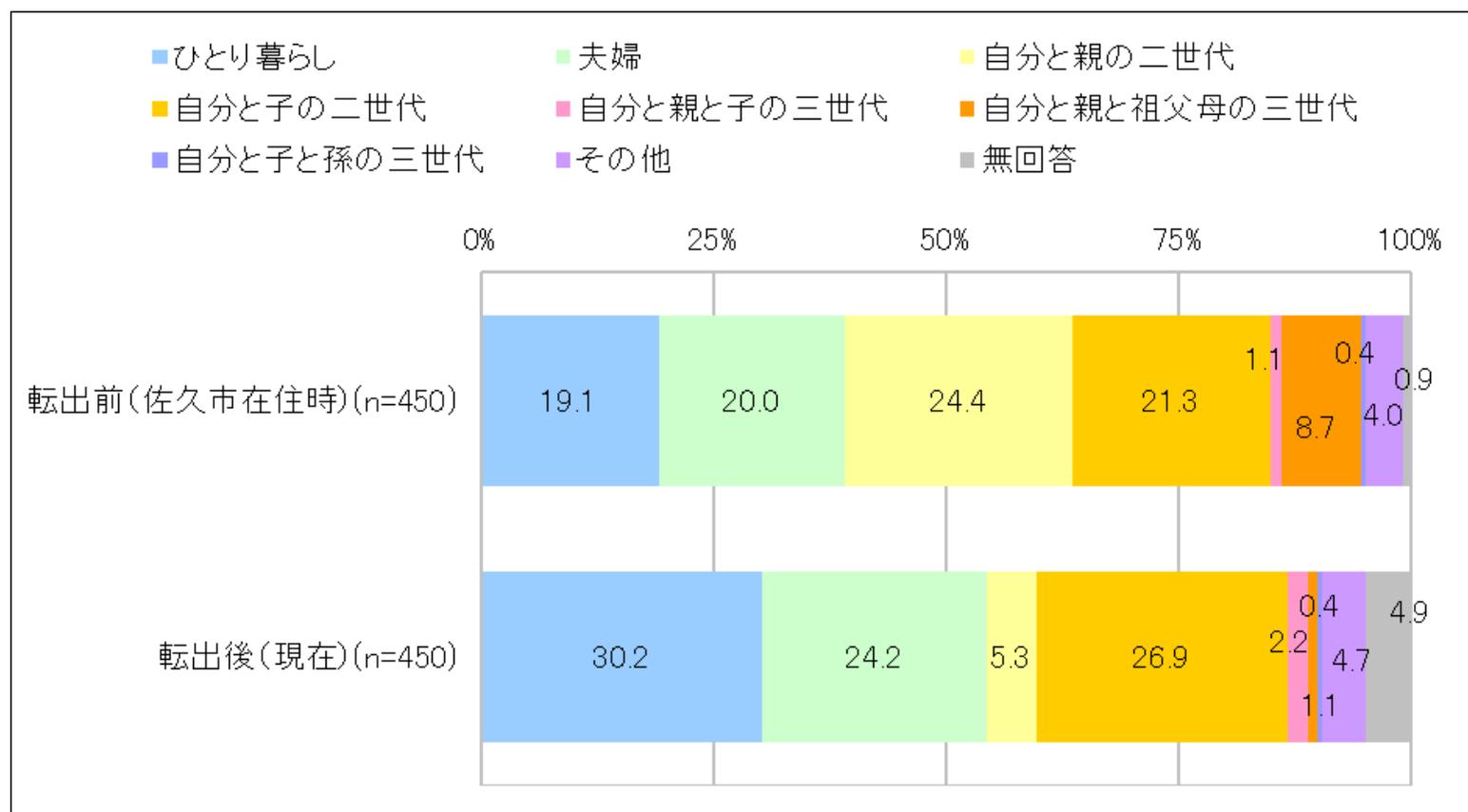


Ⅱ 調査結果

転出前後の状況 について

- 転出前後の世帯状況の変化については、転出後親との2世帯が減りひとり暮らしが増えていることから、回答者属性が比較的若いことも踏まえ、進学・就職等により実家を出てひとり暮らしを始めた回答者が多いと考えられます。
- また、夫婦世帯、自分と子の2世帯が増えていることから転出後結婚、及び結婚して子供が生まれた世帯と考えられます。

問2-4.1：佐久市在住時及び現在の世帯構成について、当てはまるものそれぞれ1つに○をつけてください。

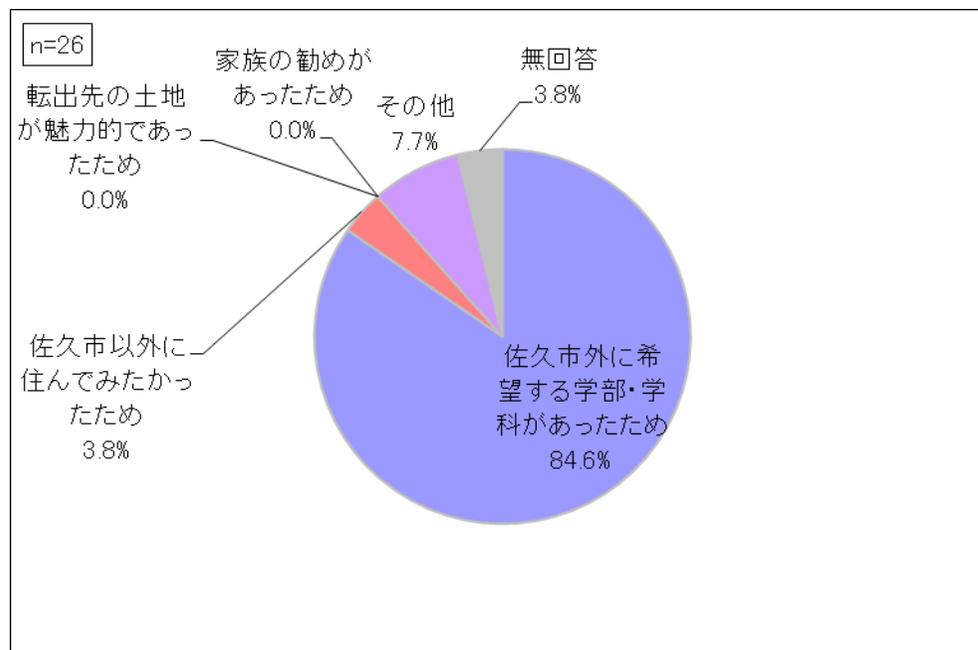


Ⅱ 調査結果

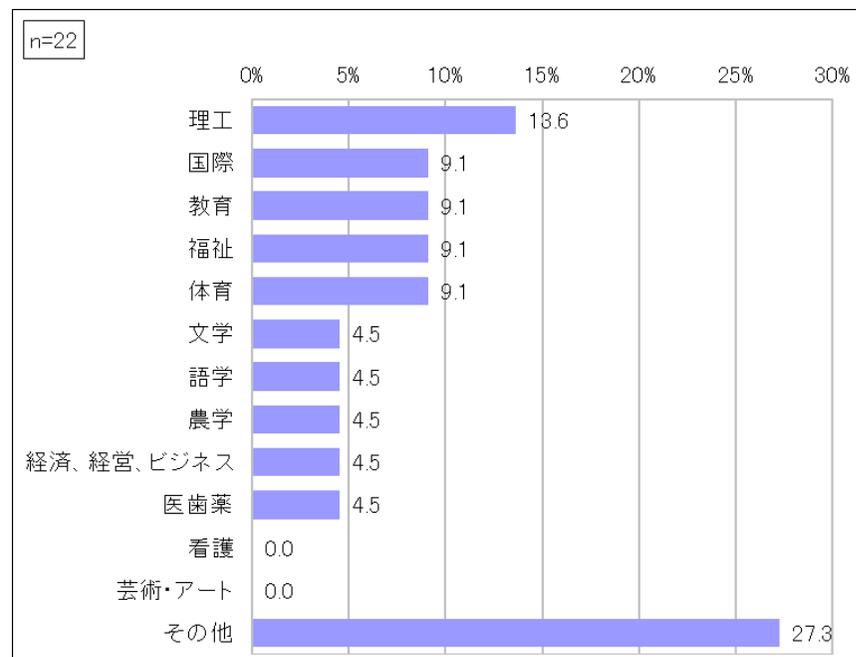
進学と就職について

- 進学を機に転出した学生について、佐久市外の学校を選んだ最大の理由は、市外に希望する学部・学科があったため、その学部・学科については理工系学部・学科が最も多く、次いで国際、教育等となっています。

問3-1：【問1-4で「4.学生」と回答でかつ問2-5で「1.進学」と回答の方】佐久市外の学校を選ばれた最大の理由は何ですか、当てはまるもの1つに○をつけてください。
(SA)



問3-2：【問3-1で「1.佐久市外に希望する学部・学科があったため」と回答の方】希望していた学部または学科名について、当てはまるもの1つに○をつけてください。
(SA)



(その他の回答内容)

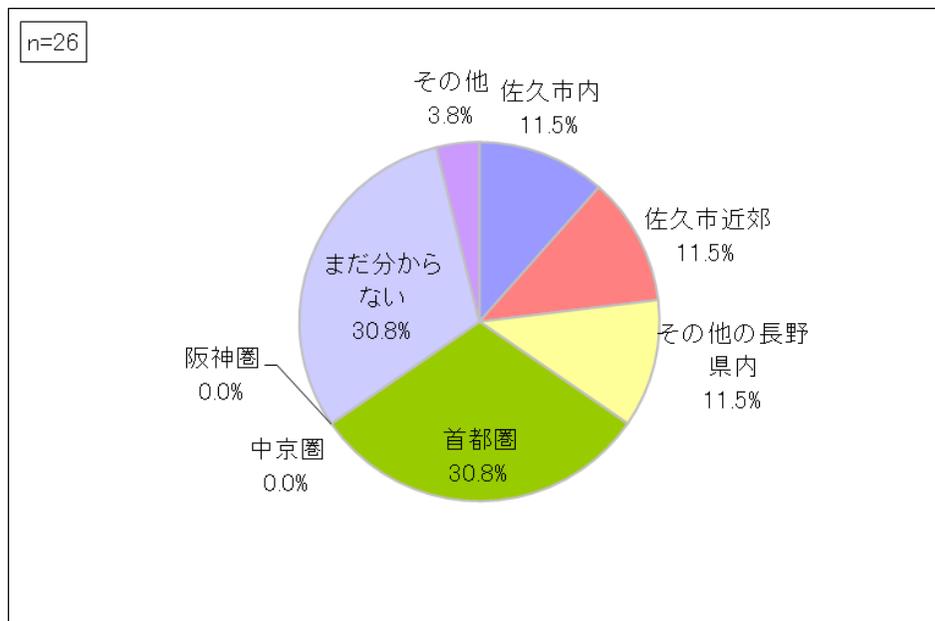
リハビリテーション
栄養学
心理学
法学部、法律学科
音楽

Ⅱ 調査結果

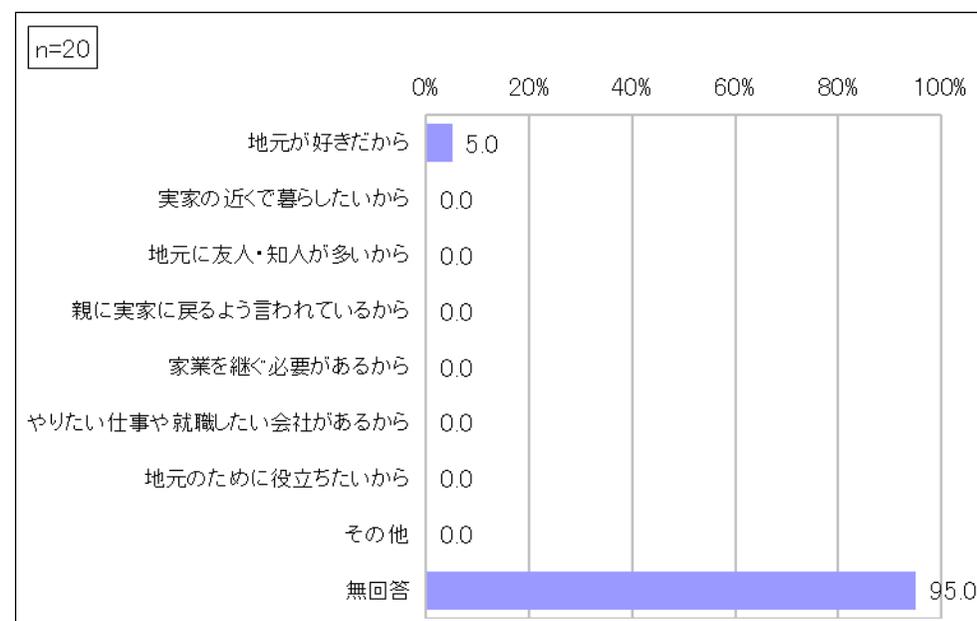
進学と就職について

- 進学を機に転出した学生について、希望する就職場所は首都圏が最も多く約30%を占めました。その他、佐久市内、佐久市近郊、その他長野県内が同じ割合でした。また佐久市・近郊で就職したい理由としては、無回答が多い一方、地元が好きだからとする回答も見られました。

問3-3：【問1-4で「4.学生」と回答でかつ問2-5で「1.進学」と回答の方】希望する就職先の場所はどこですか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）



問3-4：【問3-3で「3.その他の長野県内」～「8.その他」と回答の方】佐久市・近郊で就職したい理由として、当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

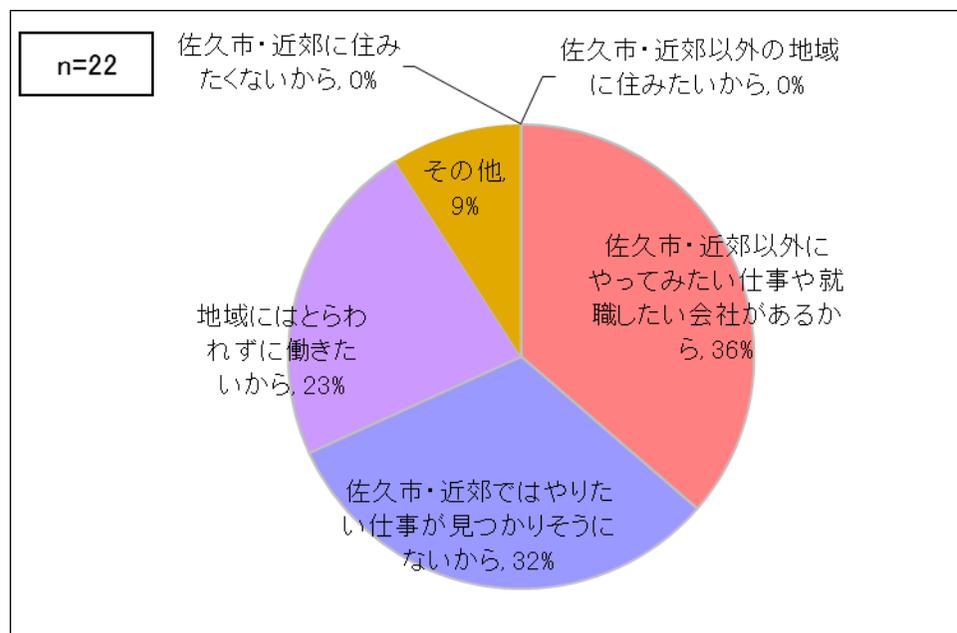


Ⅱ 調査結果

進学と就職について

- 佐久市・近郊以外で就職したい理由について、佐久市・近郊以外にやってみたい仕事や就職したい会社があるからや、佐久市・近郊ではやりたい仕事が見つかりそうにないから、とする回答が多くみられました。

問3-5：【問3-3で「1.佐久市内」、「2.佐久市近郊」と回答していない方】佐久市・近郊以外で就職したい理由として、当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

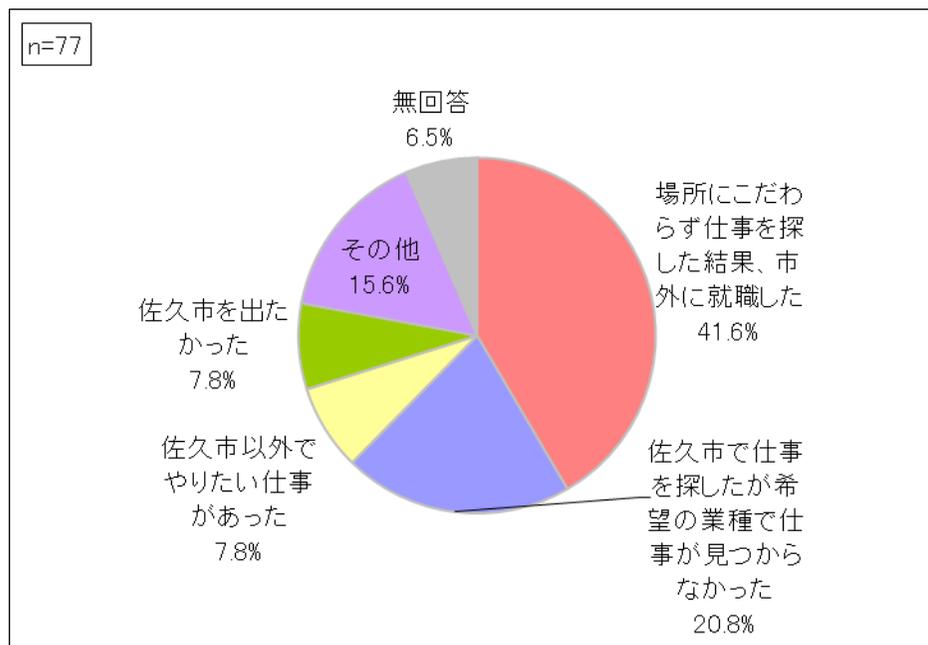


Ⅱ 調査結果

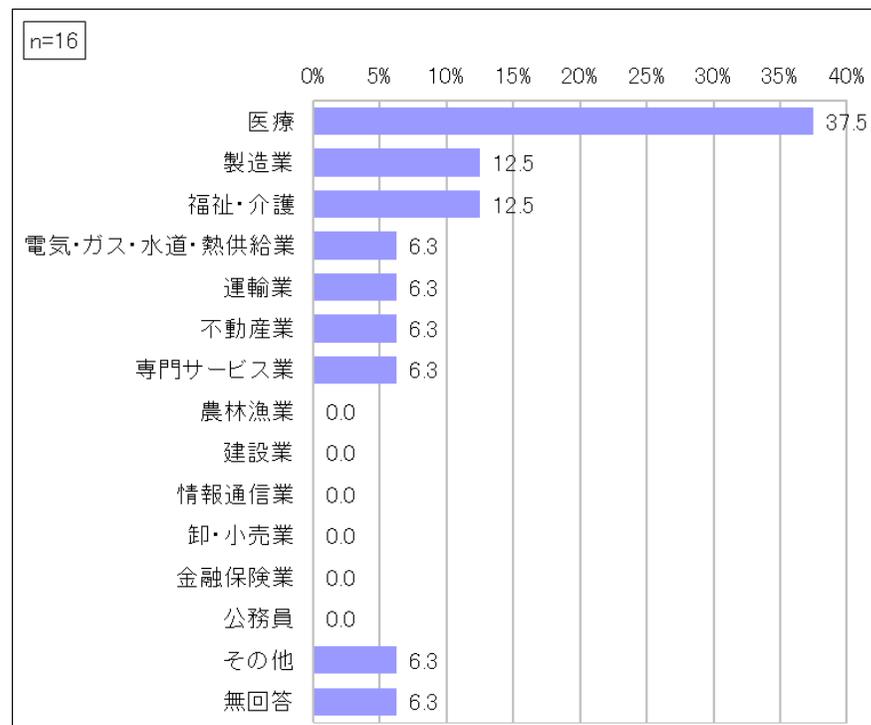
就労の状況について

- 就職・転職を機に転出した回答者について、場所にこだわらず仕事を探した結果とする回答が最も多い一方、佐久市で希望の業種で仕事が見つからなかったとする回答も約20%を占め、その業種としては医療が最も多くなりました。

問4-1：【問2-5で「2.就職・転職」と回答の方】佐久市外に就職・転職することになった経緯として、最も当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）



問4-2：【問4-1で「1.佐久市で仕事を探したが希望の業種で仕事が見つからなかった」と回答の方】希望の業種として、当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

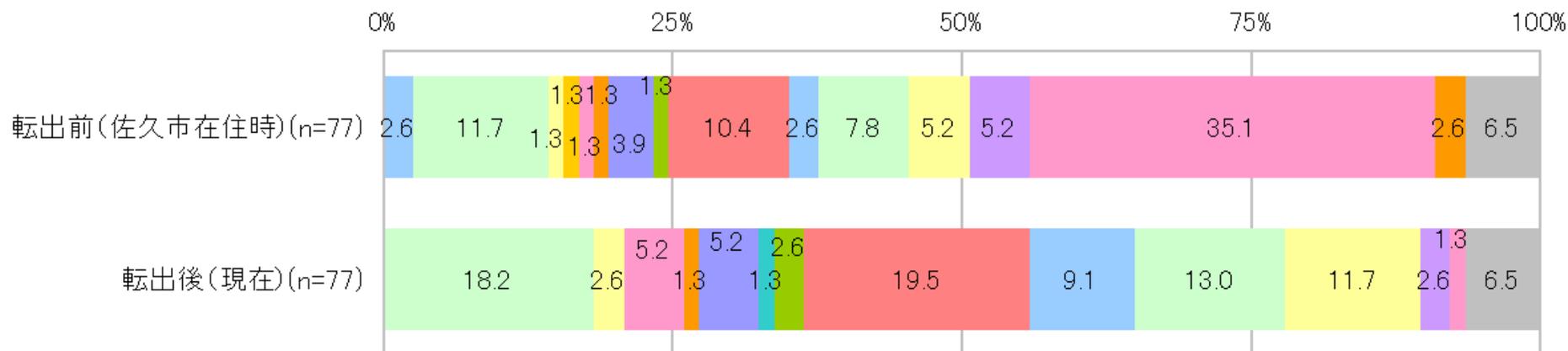
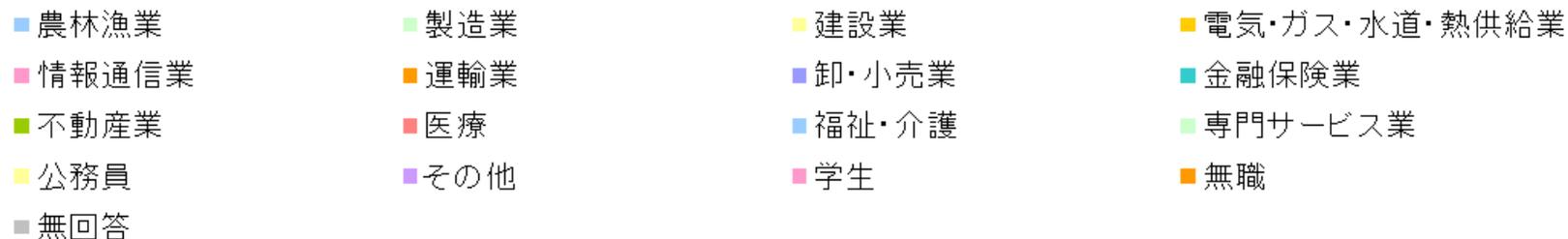


Ⅱ 調査結果

就労の状況について

- 転出前後の仕事業種について、転職前の学生が大きく減り、転出後の一部業種で増加していることから、学生がこれら業種に就職していると考えられます。特に医療や製造業、公務員等で増えています。

問4-3：【問2-5で「2.就職・転職」と回答の方】佐久市在住時及び現在の仕事の業種について、下記の中から当てはまる番号をそれぞれ1つご記入ください。

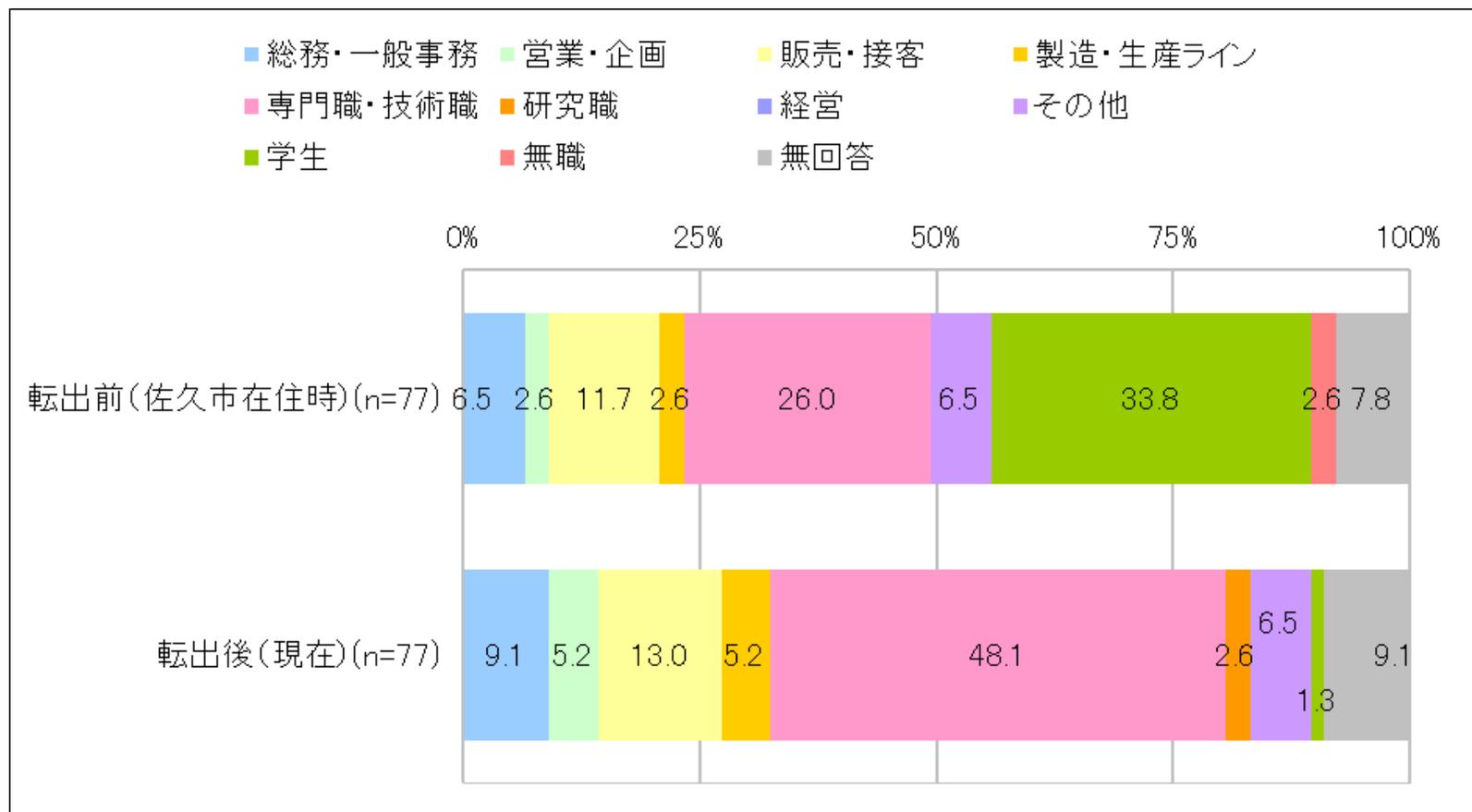


Ⅱ 調査結果

就労の状況について

- 転出前後の仕事職種について、業種の傾向同様学生が減り、各種職種で割合が増えています。特に専門職・技術職で増えています。その他、総務・一般事務や営業・企画等が増えています。

問4-4：【問2-5で「2.就職・転職」と回答の方】佐久市在住時及び現在の仕事の職種について、下記の中から当てはまる番号をそれぞれ1つご記入ください。

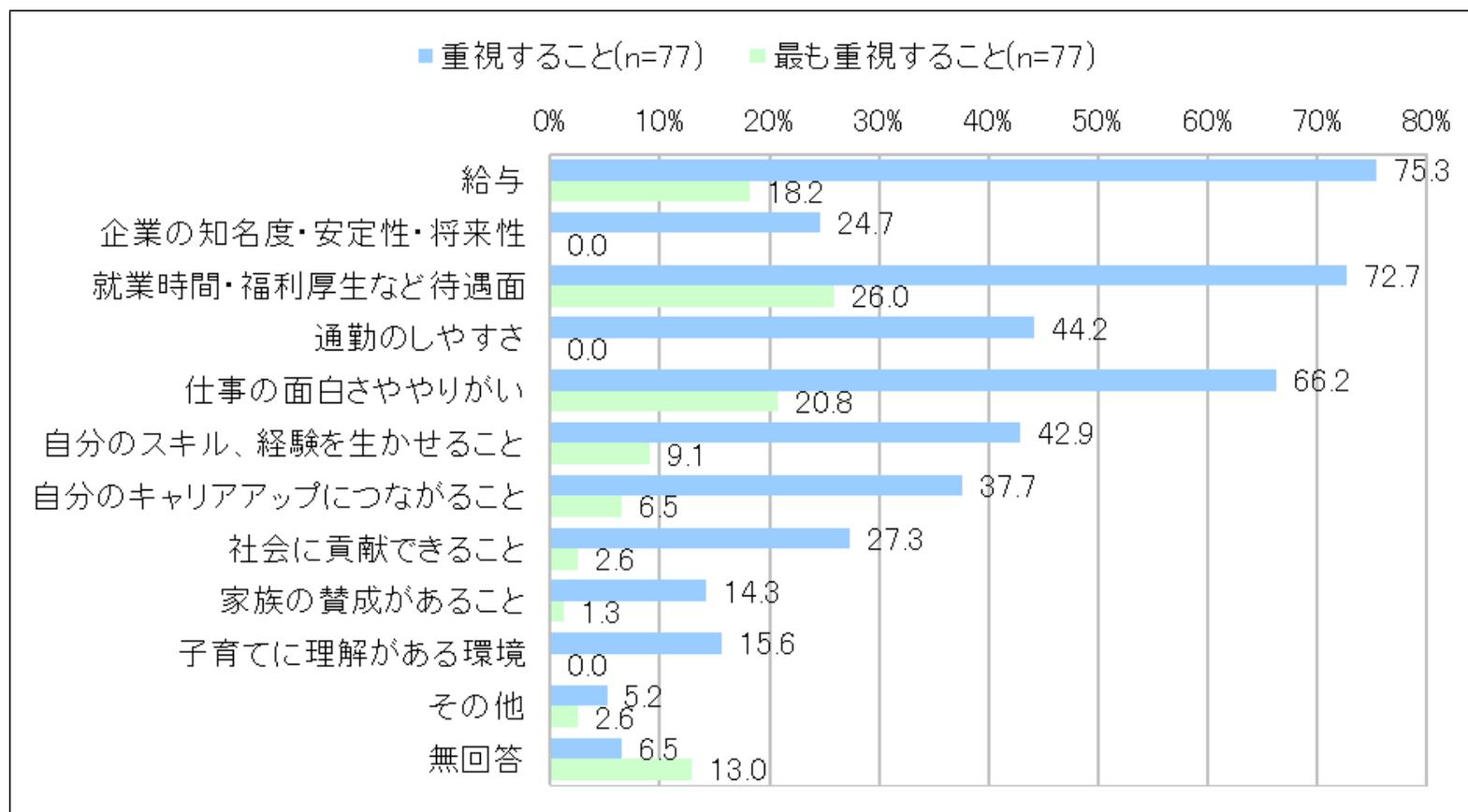


Ⅱ 調査結果

就労の状況について

- 就職・転職を機に転出した回答者について、仕事を選ぶうえで重視することとして、給与、就業時間・福利厚生など待遇面、仕事の面白さややりがい順に多くあげられました。一方、最も重視することとしては順位が前後し、就業時間・福利厚生など待遇面が最も多くあげられました。

問4-5：【問2-5で「2.就職・転職」と回答の方】あなたが仕事を選ぶうえで重視することとして、当てはまるもの全てに○をつけてください。

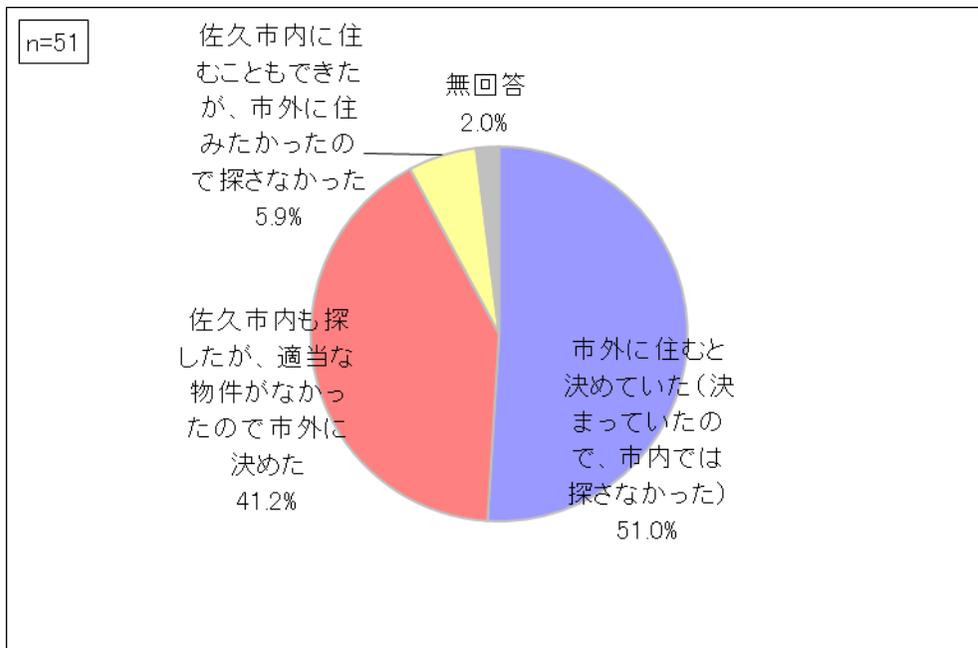


Ⅱ 調査結果

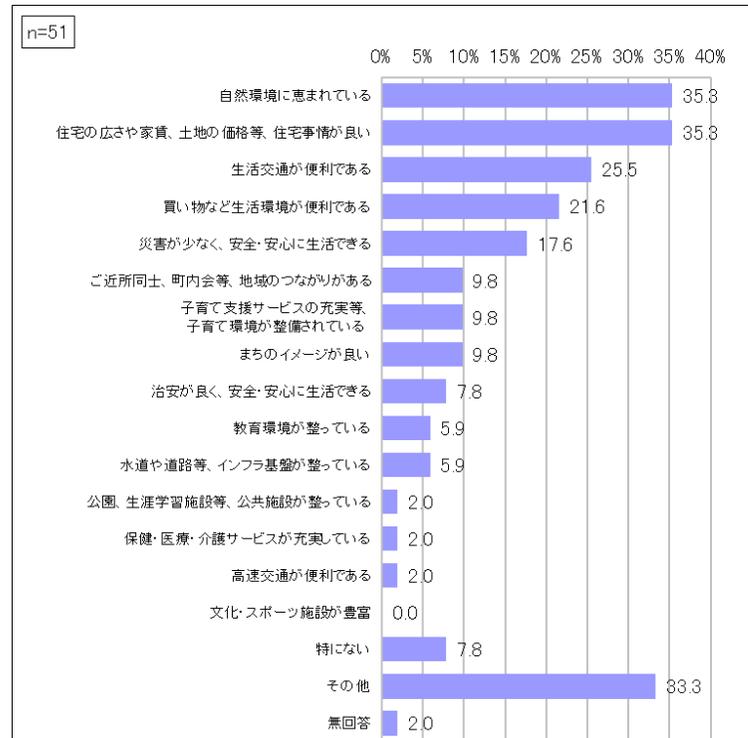
転出先の選び方などについて

- 住宅の都合や移住を機に転出した回答者について、当初から市外に住むと決めていた回答者が大半でしたが、佐久市内も探したが適当な物件がなかったとする回答が40%を占めました。なお、30～40歳代で適当な物件がなかったと回答する割合が高くなっています。
- また転出先の市町村を選んだ理由としては、自然環境に恵まれているや、住宅の広さや家賃・土地の価格等の住宅事情が良いが多く選ばれました。なお、その他の内容としては、実家や親族等の住まいによる影響がみられました。

問5-1：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出を検討する際、佐久市でもお住まいを探しましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）



問5-2-1：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出先の市町村を選んだ理由として、当てはまるもの3つまで○をつけてください。（MA）



Ⅱ 調査結果

転出先の選び方などについて

<クロス分析>

問5-1：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出を検討する際、佐久市でもお住まいを探しましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

年齢別回答割合（%）

	市外に住むと決めていた (決まっていたので、市内では探さなかった)	佐久市内も探したが、適当な物件がなかったため市外に決めた	佐久市内に住むこともできたが、市外に住みたかったので探さなかった	無回答
～19歳	100.0	0.0	0.0	0.0
20～25歳	100.0	0.0	0.0	0.0
26～29歳	100.0	0.0	0.0	0.0
30～34歳	45.5	45.5	9.1	0.0
35～39歳	25.0	50.0	25.0	0.0
40～44歳	33.3	66.7	0.0	0.0
45～49歳	60.0	40.0	0.0	0.0
50～54歳	75.0	25.0	0.0	0.0
55～59歳	100.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0.0	100.0	0.0	0.0
65～69歳	20.0	40.0	20.0	20.0
70～74歳	50.0	50.0	0.0	0.0
75歳～	50.0	50.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

転出先の選び方などについて

<自由回答（その他の回答内容）>

問5-2-1：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出先の市町村を選んだ理由として、当てはまるもの3つまで○をつけてください。

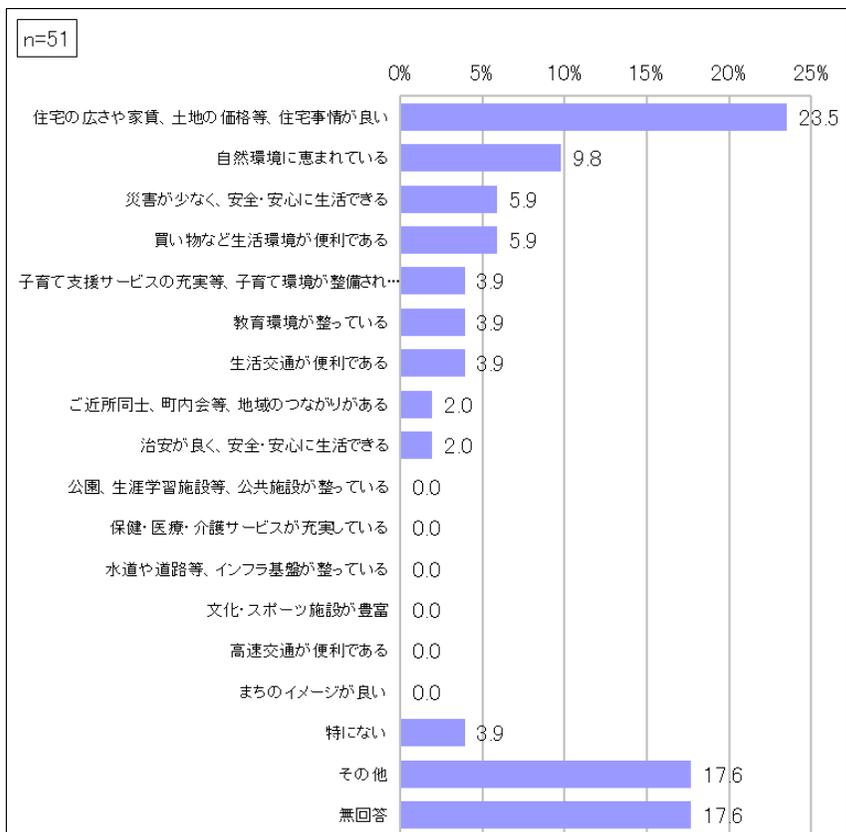
親が住んでいたのが必然的に。
別荘地に定住したかった為。
配偶者の勤務地に近い為
両親が近くにいるので
親族から家を借りることができたため。
実家が近かった為
実家があるため
全国転勤のある会社の為、選んだ訳ではない。
主人の母が病気であったため近くに住む事を選択した。また見る人が一人しかいなかったためその補助のため。
マンションを所有していたから。
転出先が決まっていたから
平均年収
夫の実家がある町だったため。
就職の内定をいただいたので
夫の勤務先の近くに住むため
家族がいたため、持ち家の購入時、土地があった
地元だったため、実家が近い
ため
主人の実家が近い
故郷に帰りたかったから
夫の実家がある為。
気候が暖かい、雪がほとんど降らない。
開店の為
親族がいたため
夫の転勤で転出したので特に選ぶことはできなかった。
職場のある場所。
親族が住んでいる
義家族と離れたかった。

Ⅱ 調査結果

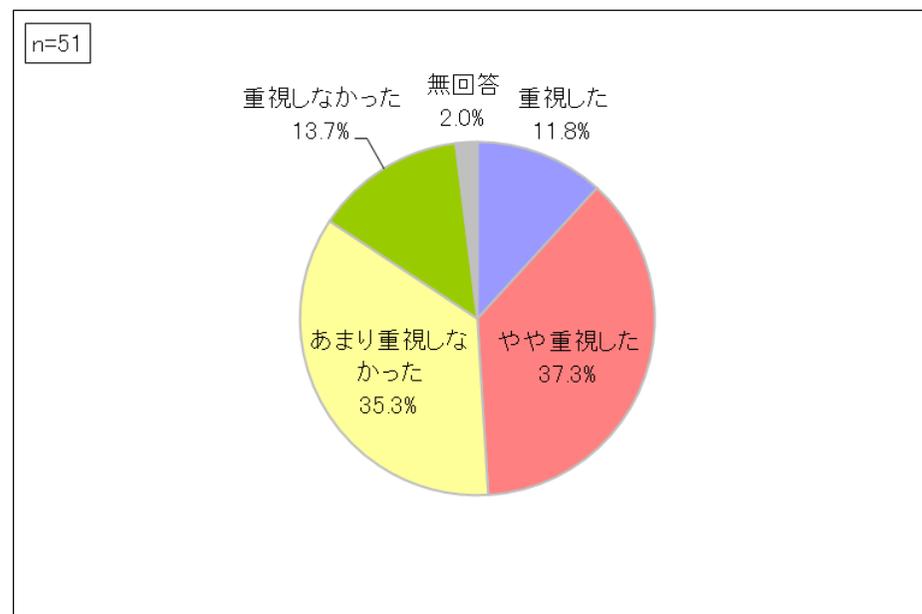
転出先の選び方などについて

- 住宅の都合や移住を機に転出した回答者について、転出先の市町村を選んだ理由で最も重視することは、住宅の広さや家賃・土地の価格等住宅事情が良いが最も多く選ばれました。年齢別では、30～40歳で子育て環境や教育環境が比較的多く選ばれています。
- また、転出に際して、市町村の印象や知名度を重視する、重視しない、の割合は概ね同数でした。

問5-2-2：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出先の市町村を選んだ理由として、最も重視することを1つ選んでください。
(SA)



問5-3：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出先を決める際、どの「市町村」に住むかをどの程度重視しましたか。（市町村の印象や知名度等をどの程度重視しましたか） (SA)



Ⅱ 調査結果

転出先の選び方などについて

<クロス分析>

問5-2-2：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】転出先の市町村を選んだ理由として、最も重視することを1つ選んでください。（SA）

年齢別回答割合（%）

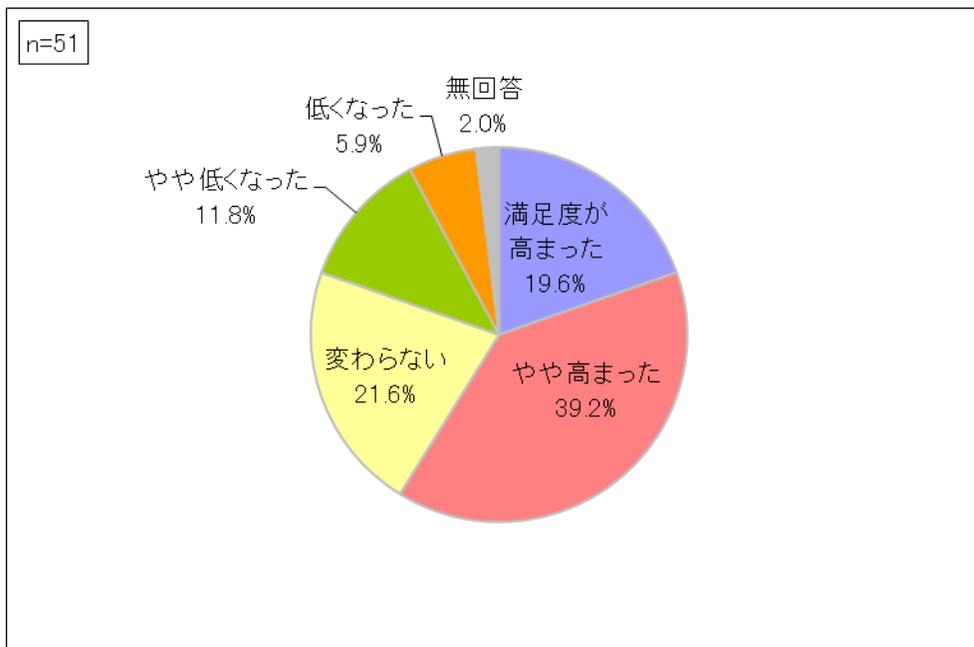
	自然環境に恵まれている	公園、生涯学習施設等、公共施設が整っている	ご近所同士、町内会等、地域のつながりがある	治安が良く、安全・安心に生活できる	災害が少なく、安全・安心に生活できる	保健・医療・介護サービスが充実している	子育て支援サービスの充実等、子育て環境が整備されている	教育環境が整っている	生活交通が便利である	住宅の広さや家賃、土地の価格等、住宅事情が良い	水道や道路等、インフラ基盤が整っている	文化・スポーツ施設が豊富	買い物など生活環境が便利である	高速交通が便利である	まちのイメージが良い	特にない	その他	無回答
～19歳	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～25歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
26～29歳	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
30～34歳	9.1	0.0	0.0	9.1	9.1	0.0	18.2	0.0	0.0	27.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	18.2
35～39歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
40～44歳	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	11.1
45～49歳	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0
50～54歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	75.0
55～59歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
60～64歳	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0
70～74歳	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
75歳～	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0

Ⅱ 調査結果

転出先の選び方などについて

- 住宅の都合や移住を機に転出した回答者について、転出により半数以上が生活全般の満足度が高まっていました。

問5-4：【問2-5で「3.住宅の都合（持ち家の購入等）」、「4.移住（住みたい地域を探した）」と回答の方】現在の暮らしを佐久市での暮らしと比べると、生活全般の満足度はどのように変わりましたか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

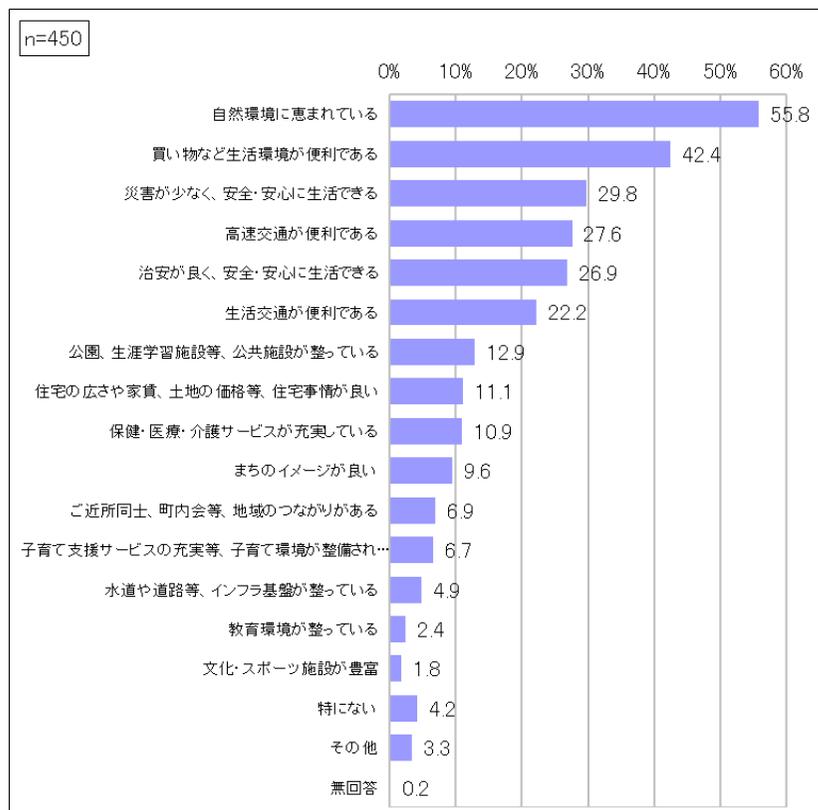


Ⅱ 調査結果

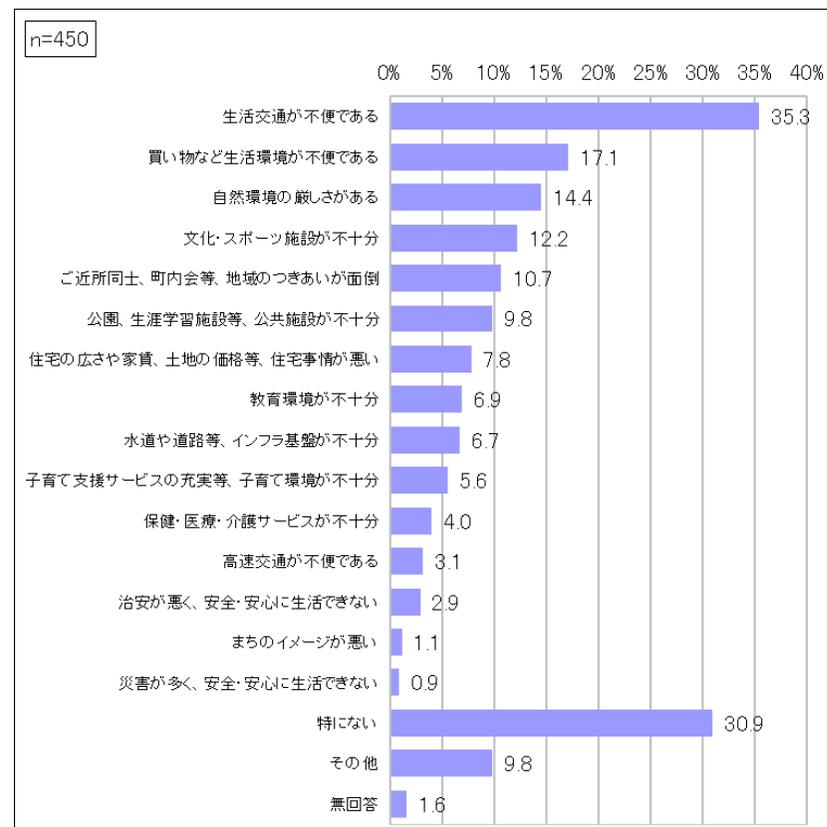
佐久市について

- 佐久市の暮らしやすかった点・暮らしにくい点について、暮らしやすかった点として、自然環境に恵まれている、買い物など生活環境が便利であるが多く選ばれる一方、暮らしにくい点として、生活交通が不便である、が多く選ばれました。なお、暮らしにくい点として、特にないとする回答が2番目に多かった点は佐久市の暮らしやすさを表すものと考えられます。

問6-1：佐久市の暮らしやすかった点として、当てはまるものに3つまで○をつけてください。（MA）



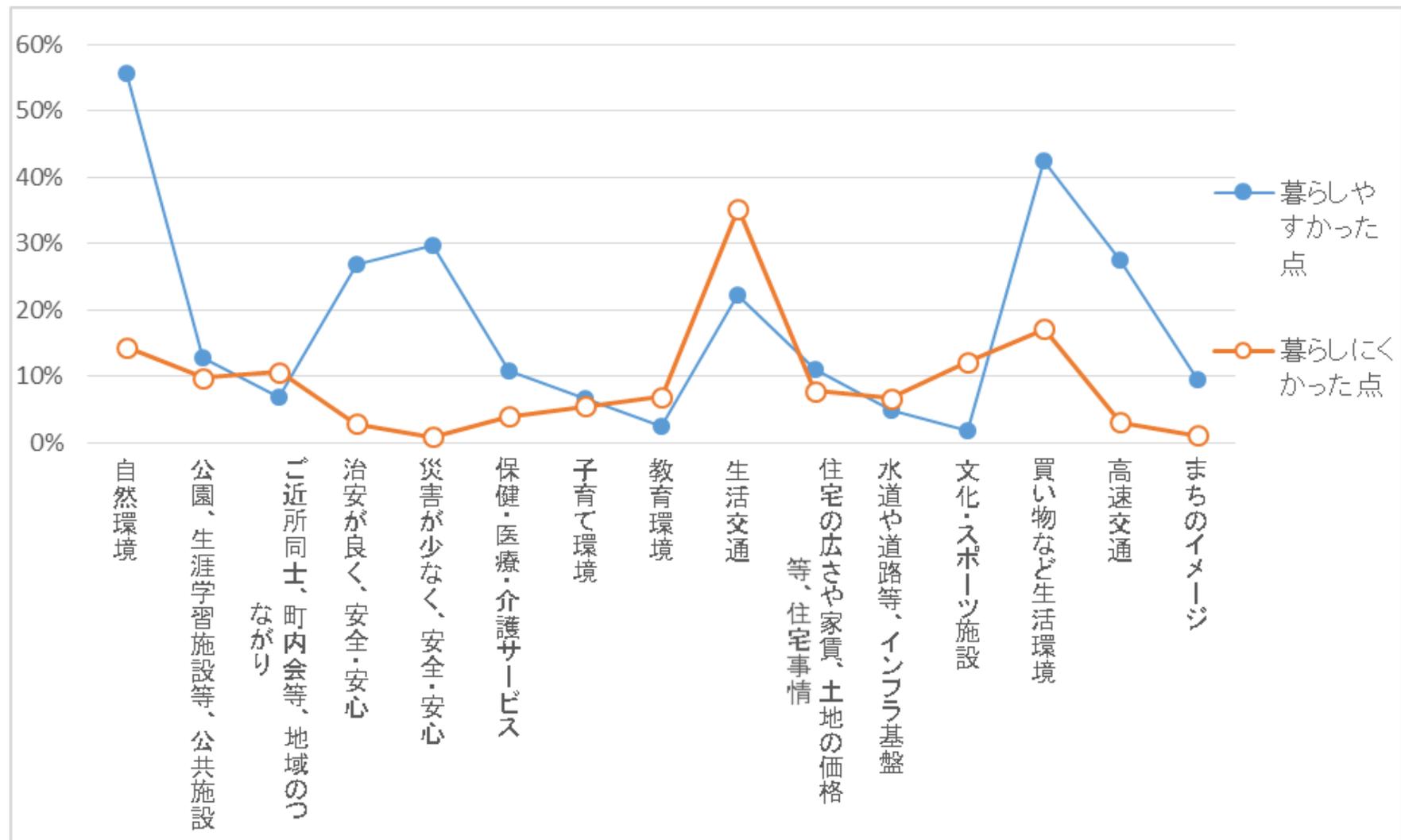
問6-2：佐久市の暮らしにくかった点として、当てはまるものに3つまで○をつけてください。（MA）



Ⅱ 調査結果

佐久市について

問6-1、2：佐久市の暮らしやすかった点、暮らしにくい点（再掲）

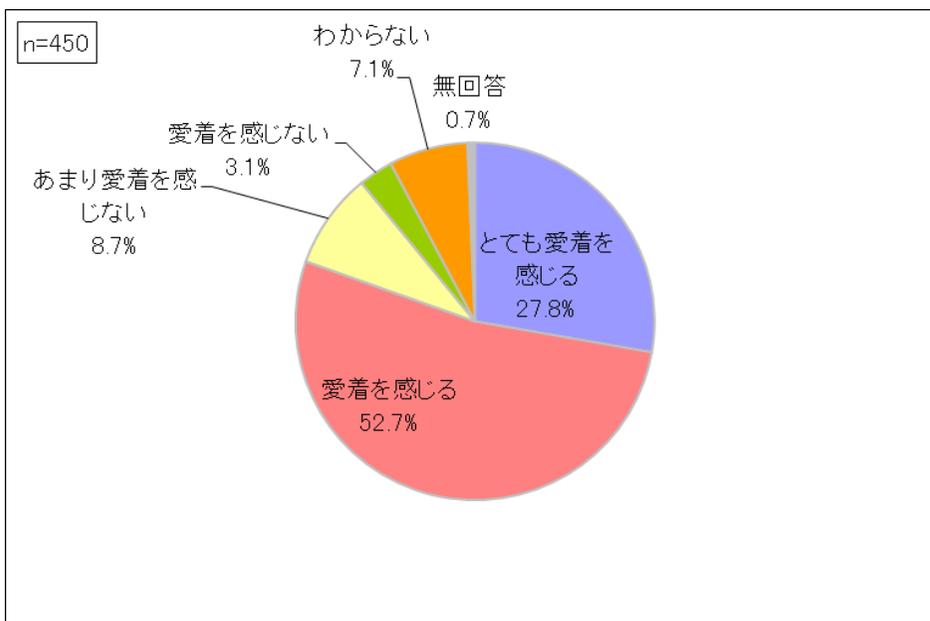


Ⅱ 調査結果

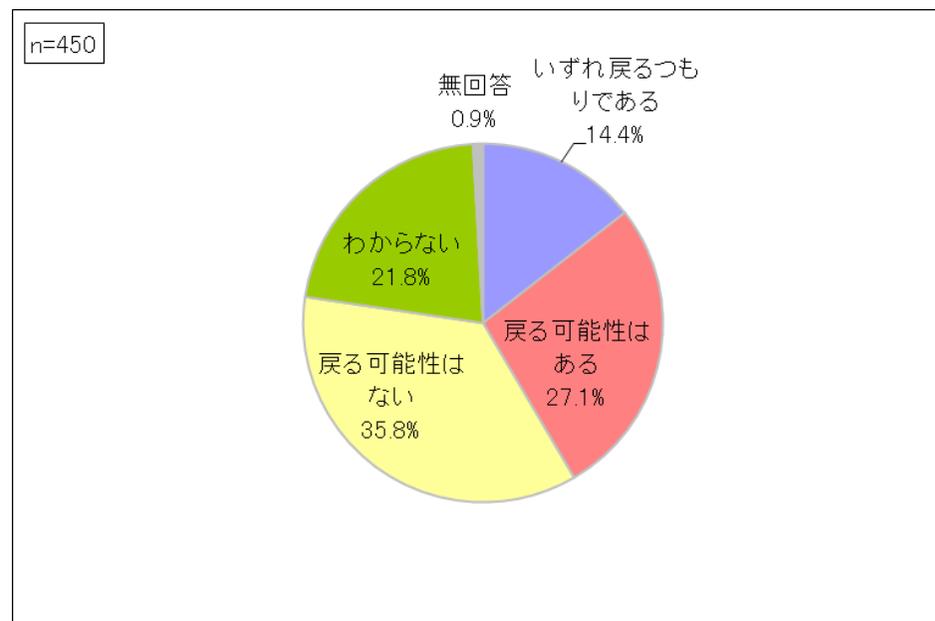
佐久市について

- 佐久市への愛着度について、約80%が愛着を感じていました。特に佐久市以外の出身者でも愛着度が高かったことが注目されます。
- 将来佐久市に戻る可能性について、40%を超える回答者が戻る可能性を示唆しています。年齢別では比較的若い層で戻る可能性が高くなっています。また、多くの市外出身者でも戻る可能性を示唆しており、愛着度が反映しているものと考えられます。

問6-3：佐久市への愛着度として、当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）



問6-4：将来、佐久市に戻るつもりはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）



Ⅱ 調査結果

佐久市について

<クロス分析>

問6-3：佐久市への愛着度として、当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

年齢別回答割合（%）

	とても愛着を感じる	愛着を感じる	あまり愛着を感じない	愛着を感じない	わからない	無回答
佐久市	44.3	47.0	4.4	1.6	2.7	0.0
佐久市以外の長野県	15.6	56.3	9.4	3.1	14.8	0.8
長野県以外	17.3	57.9	13.5	4.5	6.0	0.8
国外	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

佐久市について

<クロス分析>

問6-4：将来、佐久市に戻るつもりはありますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

年齢別回答割合（％）

	いずれ戻る つもりである	戻る可能性 はある	戻る可能性 はない	わからない	無回答
～19歳	41.7	16.7	16.7	16.7	8.3
20～25歳	20.0	42.5	12.5	23.8	1.3
26～29歳	12.3	38.5	30.8	18.5	0.0
30～34歳	16.3	26.1	41.3	16.3	0.0
35～39歳	10.6	19.1	42.6	25.5	2.1
40～44歳	11.8	17.6	38.2	32.4	0.0
45～49歳	10.0	17.5	47.5	25.0	0.0
50～54歳	19.2	19.2	50.0	11.5	0.0
55～59歳	17.6	11.8	47.1	23.5	0.0
60～64歳	0.0	20.0	50.0	30.0	0.0
65～69歳	0.0	33.3	44.4	22.2	0.0
70～74歳	0.0	42.9	28.6	28.6	0.0
75歳～	0.0	0.0	66.7	33.3	0.0

出身地別回答割合（％）

	いずれ戻る つもりである	戻る可能性 はある	戻る可能性 はない	わからない	無回答
佐久市	26.2	35.5	17.5	19.7	1.1
佐久市以外の長野県	6.3	21.1	45.3	27.3	0.0
長野県以外	6.8	22.6	50.4	19.5	0.8
国外	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0

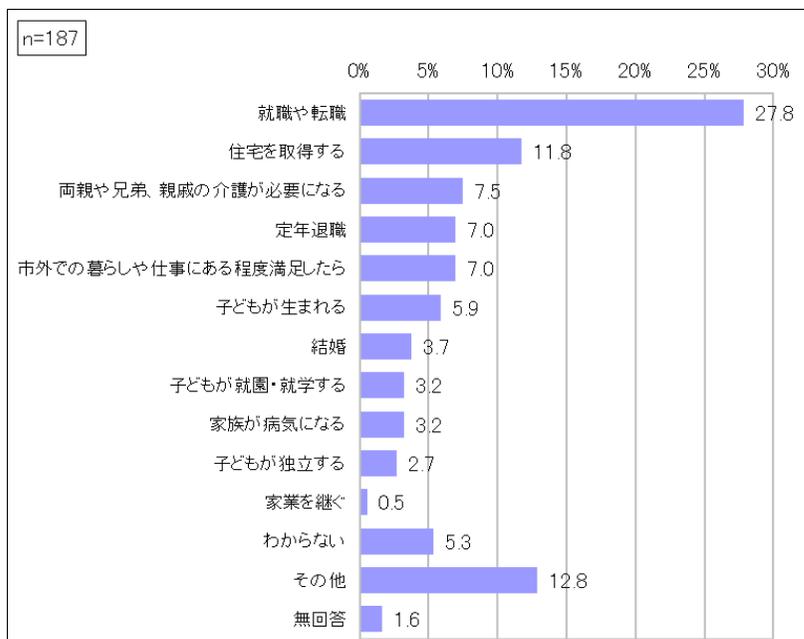
Ⅱ 調査結果

佐久市について

- 佐久市に戻る可能性がある回答者について、そのキッカケとしては就職や転職が多くあげられました。幅広い年齢層で同回答が多いことから、若い年齢層では就職で、その他世代では転職と考えられます。また30～40歳代では住宅の取得や子どもの就学・就園等が比較的多く、ファミリー層のライフプランが影響していると考えられます。
- また、佐久市に戻り定住するための施策としては、戻るキッカケとして就職や転職が多くあげられたことを反映し、仕事・雇用の創出が最も多くなっています。また、30～40歳代では子どもの就学・就園等が比較的多かったことから、人口増に向け子育て支援策の充実も期待されます。

問6-5：【問6-4で「1.いずれ戻るつもりである」、「2.戻る可能性はある」と回答の方】佐久市に戻るとしたら、どのようなキッカケが考えられますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。

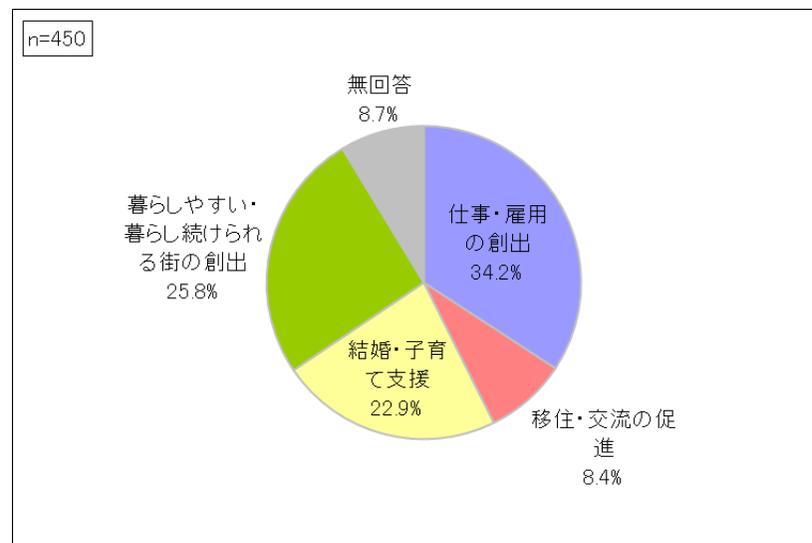
(SA)



その他の回答内容としては、転勤、独立開業など

問6-6：佐久市出身者がもう一度佐久市に戻り、定住できるようになるために、佐久市はどのような施策に力を入れていくべきでしょうか。最も力を入れるべきと考えるもの1つに○をつけてください。

(SA)



Ⅱ 調査結果

佐久市について

<クロス分析>

問6-5：【問6-4で「1.いずれ戻るともりである」、「2.戻り可能性はある」と回答の方】佐久市に戻るとしたら、どのようなキッカケが考えられますか。当てはまるもの1つに○をつけてください。（SA）

年齢別回答割合（%）

	就職や転職	結婚	住宅を取得する	子どもが生まれる	子どもが就園・就学する	子どもが独立する	定年退職	家族が病気になる	両親や兄弟、親戚の介護が必要になる	家業を継ぐ	市外での暮らしや仕事にある程度満足したら	わからない	その他	無回答
～19歳	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
20～25歳	32.0	10.0	6.0	14.0	2.0	2.0	0.0	2.0	4.0	0.0	14.0	8.0	6.0	0.0
26～29歳	30.3	6.1	9.1	9.1	6.1	0.0	15.2	0.0	3.0	0.0	6.1	3.0	12.1	0.0
30～34歳	25.6	0.0	28.2	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	10.3	2.6	5.1	2.6	15.4	7.7
35～39歳	14.3	0.0	21.4	7.1	0.0	7.1	7.1	0.0	7.1	0.0	0.0	7.1	28.6	0.0
40～44歳	10.0	0.0	10.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	10.0	0.0
45～49歳	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	18.2	9.1	36.4	0.0	9.1	0.0	9.1	0.0
50～54歳	30.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	0.0	0.0	10.0	20.0	0.0
55～59歳	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
60～64歳	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0
70～74歳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0
75歳～	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

Ⅱ 調査結果

佐久市について

- ・ Uターンの際支援策として自由回答では、住宅取得にかかる支援、子育て支援、仕事紹介等の回答が多くあげられました。

問6-7：Uターンの際にあると良い自治体による支援があれば、ご自由にお書きください。（抜粋）

（住宅の取得支援等）

就職支援や住宅補助があると嬉しいです。また、子育て支援がもっとあると「佐久市に住みたい」と思えるのではないのでしょうか？転職する際、佐久に魅力的な就職先が無かったので、魅力的な就職先とその企業と上手くマッチングできる取組があると嬉しいです。
住宅取得の際の助成金などがあると嬉しい。佐久市にUターンし、家を建てる予定だが、土地からの購入のため、支援があると助かる。
住宅補助等
住居等のあっ旋及び補助 ・転出入に伴う諸経費の一部補助
住宅取得の支援

（子育て支援等）

現在、幼稚園教諭として高崎市で働いています。その中でやはり、子育てのしやすい環境が整っているのがいいなと感じます。保育士にかぎらず、働く女性が子育てしやすく、そして、仕事にも復帰しやすい環境を整えて欲しいです。
現在住んでいる地域には、産後にファミリーサポートという支援があります。核家族世帯の子育てが孤育てとなってしまうようなサポートがあると良いと思います。
現在の移住地では、子育て支援として早朝から夜間まで利用できる一時保育室やファミリーサポートセンター、子が病気だが仕事やすめないときなどに利用できる緊急サポートセンター（病児保育は感染症不可なので、幼児は感染症ばかりなのでほぼ使えない）が充実していて大変助かっている。佐久市にもあったらよかったなと感じます。
子供の医療で、やはり窓口無料は大きいです。転出先の北杜市は窓口無料で救急の時などとても助かりました。佐久市もそうなれば良いのに...と思います
子育て環境の充実、子育て世代のコミュニティの創設、拡充。

（雇用等経済関連支援等）

仕事紹介などといった職業支援
・若い方々には、やはり住宅の補助や雇用対策等のアピールが必要ではないでしょうか。 ・HPが暗いイメージなのも気になりました。
雇用対策。定年退職後に、田舎でゆっくり仕事をしながら生活したい時に、高齢者を雇う会社が有るかは決断の際に大きいと思う。
仕事の紹介 就活の支援
若者に対する就職支援。定年退職者に対する定住のためのガイダンス・誘致。

Ⅲ 調査まとめ

転出前後の状況 について

- 転出者の佐久市での居住年数は10年以上が最も多く、定住促進が課題になっています。なお、回答者層が進学や就職等で移動が多い30歳代前半までで半数以上を占めたことも要因の一つと考えられます。
- 転出先は県内他自治体が中心でしたが、東京都をはじめとする関東圏への転出も多くみられました。
- 転出前後の世帯の変化については、夫婦世帯、自分と子の2世帯について転出後に割合が増えていることから、転出後に結婚、及び結婚して子供が生まれた世帯が多いと考えられます。

進学と就職について

- 進学を機に転出した学生について、佐久市外の学校を選んだ最大の理由は市外に希望する学部・学科があったため、学ぶ場所を求め市外に多くの若者が転出していると考えられます。
- また転出した学生は将来の就職先として、市内を選ぶ回答も11.5%見られましたが、多くは首都圏を中心に他自治体を選択していました。

Ⅲ 調査まとめ

就労の状況について

- 就職・転職を機に転出した回答者について、場所にこだわらず仕事を探した結果とする回答が最も多い一方、佐久市で希望の業種で仕事が見つからなかったとする回答も約20%を占め、その業種としては医療が最も多くなりました
- なお、仕事を選ぶうえで重視することとして、給与、就業時間・福利厚生など待遇面、仕事の面白さややりがい、が順に多くあげられました。一方、最も重視することとしては順位が前後し、就業時間・福利厚生など待遇面が最も多くあげられました。

転出先の選び方などについて

- 住宅の都合や移住を機に転出した回答者について、佐久市内も探したが適当な物件がなかったとする回答が40%を占めました。特に、30～40歳代で適当な物件がなかったと回答する割合が高く、これら家庭を持つ家族が他自治体へ転出することは少子化にもつながるため対策が望まれます。
- また、転出先の市町村を選んだ理由としては、佐久市の良さと言われる自然環境が多くあげられることから、自然と調和したまちづくりが期待されます。

佐久市について

- 佐久市の暮らしやすかった点として、自然環境に恵まれているが多くあげられましたが、この良さを守り続けることが今後記述の「転出先を選ぶ理由として自然環境をあげた回答者」のUターンにつながると考えられます。
- 佐久市への愛着度について、約80%が愛着を感じていました。特に佐久市以外の出身者でも愛着度が高かったことが注目されます。

佐久市について

- 将来佐久市に戻る可能性について、多くの市外出身者でも戻る可能性を示唆しており、愛着度が反映しているものと考えられます。
- 従って今後、佐久市に戻り定住するための必要な施策として多く選ばれた、仕事・雇用の創出や、30～40歳代のファミリー層向けには子育て支援策の充実が期待されます。